



平成25年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会 Match Result



試合番号 **605** **A 試合会場レポート**

■会場	東京体育館(東京)	試合開始: 11:00	試合時間	1:27
観客数	1,500	主審: 北村 友香	副審: 西中野 健	

	得点	セット時間	得点	
NECレッドロケッツ	20	1set(27')	25	久光製薬スプリングス
	17	2set(23')	25	
	25	3set(31')	27	

■監督: 山田 晃豊
■コーチ: 大村 悟

■監督: 中田 久美
■コーチ: 安保 澄

■第1セット出場メンバー

6 近江	9 白垣	13 大野
8 島村	5 松浦	4 内田
	18 (クトウ)	3 (都築)

()内は交代選手
■リベロ: 14 鳥越 未玖
10 岩崎 紗也加

■第1セット出場メンバー

22 石田	1 長岡	4 岩坂
	11 (狩野)	
23 石橋	2 古藤	3 新鍋
	8 (野本)	

()内は交代選手
■リベロ: 20 筒井 さやか

62	Total	77
0	セット数	3

■Match Comment

トヨタ車体クインシーズに勝利したNECレッドロケッツと危なげなく勝ち進んで来た久光製薬スプリングスとの試合。第1セット、序盤は一進一退、久光製薬は長岡のサーブから抜け出だす。NECも内田、白垣の攻撃で追いあげる。久光製薬がセットを取る。第2セットも序盤から久光製薬は石田の攻撃、ブロックでリードしそのままの勢いでセットを連取する。NECも島村と近江の攻撃で粘りを見せたが、追いつくまでには至らなかった。第3セット、序盤、NECがリードするが、久光製薬は平井が入りムードを変えると、石田の攻撃で逆転する。中盤、NECも島村、大野のブロック、攻撃で再逆転しジュースまでもつれ、最後は久光製薬の新鍋の攻撃が決まり試合に勝利する。

■Coach Comment: 山田 晃豊 (NECレッドロケッツ)

第1セット、一進一退の攻防となったが、中盤抜け出され、その点差を縮める事が出来なかった。長岡選手のサーブ時にサイドアウトキープが難しく、その差が結果として表れたセットとなった。第2セットに入ると、久光のサーブとブロックの前に完全にリズムを崩され、立て直す事が出来なかった。第3セット布陣を変えて臨んだ。機能し、粘りを見せたが最後は逃げ切られてしまった。全体的に見ると、久光の方が全てのプレーにおいて上手でした。またバランスの良いチームであり、我々も見習うべき点が多く、良いところを吸収し、今後活かしていきたい。今日も多くのご声援ありがとうございました。

■Coach Comment: 中田 久美 (久光製薬スプリングス)

本日は寒い中、たくさんのご声援、誠にありがとうございます。これまでの天皇・皇后杯での2戦は、ミスから自滅してしまい、なかなかリズムを作る事が出来なかった。しかし、本日の試合ではスタートから積極的に攻撃を仕掛け、勢いをつけ終始、自分達のリズムを崩さず戦えた事が良かった。また、ブロックとレシーブの関係性を整理して、ディフェンスでしっかり対応し、数多くのオフェンスチャンスを生み出した事も本日の勝利に繋がったと感じている。明日の一戦、選手・スタッフ丸となって戦います。応援の程、よろしく願います。

■作成者: 塚本 健二

※ 本票の著作権は公益財団法人日本バレーボール協会に帰属します。

